令和6年度全国公共図書館協議会

定期総会 記録

- 1 日時 令和6年6月28日（金） 午前10時～11時
- 2 場所 東京都立中央図書館（オンライン開催）
- 3 出席者 54名、委任状提出者 924名
- 4 来賓挨拶

国立国会図書館長	倉田 敬子 様
文部科学省総合教育政策局地域学習推進課 図書館・学校図書館振興室長	小沢 文雄 様
公益社団法人日本図書館協会理事長	植松 貞夫 様

5 議題

I 協議事項

- (1) 令和5年度事業報告について
- (2) 令和5年度決算について
- (3) 令和5年度会計監査報告について
- (4) 令和6年度事業計画（案）について
- (5) 令和6年度予算（案）について
- (6) 令和6年度表彰について

II 報告事項

- (1) 図書館等公衆送信サービスに関する関係者協議会等の進捗状況について
- (2) 「資料デジタル化及び利用に係る関係者協議会」の動向について
- (3) 図書館等公衆送信サービス実施・検討状況に関するアンケートの実施について

6 記録

協議事項（1）～（6）について承認された。いただいたご意見及びご質問は以下のとおりであった。

<ご意見・ご質問>

協議事項（2）

- ・繰越額の有効活用について今後理事会で審議いただく予定とのことだったが、今のところどのような意見が出ているか、あるいはどういった内容の審議になりそうか、差支えのない範囲で伺いたい。

【事務局】

第1回理事会では、予備費の金額が多いのではないかとの指摘があった。どのように使うかについては今後の動向を見ながら検討する。

協議事項（5）

- ・支出の部の事業費の説明欄について、編集委員会等旅費や動画撮影等委託費が0円で計上されているが、今後補正予算を組んで増額となる予定なのか。あるいはこれまでは予算が

計上されていて、今年度は0円となっているという趣旨なのか。これまでどのような動画を作成してきたのか。また、今後の動画の作成予定はあるか。

【事務局】

今年度は0円となっているという趣旨である。令和5年度は、総会で動画撮影をしてオンライン配信を行った。

令和7年度以降は、同時期に開催される「国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定都市立図書館長との懇談会」の開催形式も踏まえながら、今後検討していく。

【会長補足】

これまでは新型コロナウイルス感染症の関係でオンラインによる動画の撮影を行っており、昨年度までは動画撮影等委託費として計上していた。今年度は対面開催のため0円としている。予備費については、これまでオンライン開催のために使用していたが、今後どうするかについては、皆様のご意見を伺いながら検討していきたい。例えば、分担金を減らしたり、新規事業を行ったりといった案が考えられる。

・研究集会のオンデマンド配信を予定しているとのことだが、予算は計上しなくてよいのか。

【事務局】

都立図書館の機材を用いて撮影するため、費用はかからない。

報告事項（3）

・図書館等公衆送信サービス実施・検討状況に関するアンケートは今後も定期的実施する予定はあるか。

【事務局】

現時点では予定していない。

・アンケートは、情報共有のため今後少なくとも数年は継続して実施していただきたい。

【事務局】

要望として承る。

・SARLIBが「特定図書館等の登録及び利用報告等の受付の開始を延期する」旨のおしらせを公開したことについて、アンケートの実施と関連性があるのかどうか知りたい。また、どういった理由で延期になったのかについて、ご存じだったら教えていただきたい。

【事務局】

延期の件とアンケートの実施については無関係である。また、なぜ延期になったのかはSARLIBが決定した事項のため、事務局からお答えできることはない。

事務局側で関係者協議会や各分科会に出席しているため、新しい情報が入り次第、関係各館に共有していきたい。